

補助事業番号 23-2-003

補助事業名 平成23年度 こどもが幸せに暮らせる社会を作る活動 補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

自己肯定感が低く、孤独に陥りがちな子どもの“心のセーフティネット”としてのチャイルドラインは、顕在化していない虐待、深刻な虐待に進むことを予期させる電話も数多く受けてきた。子どもが幸せに暮らせる社会をつくるために、①虐待を未然に防ぐ子どもと大人に向けたキャンペーン活動、②電話を受けるボランティアがSOSを確実につかむスキルを磨くための研修強化と基盤強化を行い、社旗福祉の増進に寄与する。

(2) 実施内容

① 虐待防止啓発キャンペーン事業

・啓発キャンペーンの開催：チャイルドライン支援センター並びに全国45都道府県77団体のチャイルドライン実施団体、1県2団体のチャイルドライン準備団体を通じて、今の子どもたちの現状を伝え、子どもに寄り添う姿勢や、子どもを取り巻く環境の改善を訴え、市民社会全体として子どもを支えるための寄付を呼びかける内容の大人向けキャンペーンパンフレットを作成し、子どもに関わる大人やその他広く社会一般の大人に配布を行った。また、子ども向けにはチャイルドラインの説明や開設日時と電話番号を明記したキャンペーンシールを作成し、各地の学校等を通じて、全国の子どもたちに配布を行った。全国での取り組みを総括することを目的に全国運営者会議を1月に開催した。

・年次レポートの作成：2010年度にチャイルドラインで受けとめた子どもたちの声について、子どもたちから寄せられたチャイルドラインに電話をしての感想、またデータから見える子どもたちの現状等、また2011年3月11日に発生した東日本大震災に関してチャイルドラインに寄せられた子どもたちの状況をまとめた報告書を3300部作成し、子どもに関わる活動を展開する民間団体、児童相談所等の公共機関、企業等に配布し、啓発活動を行った。

② 虐待早期発見強化研修事業

・地域研修の開催：全国の7つのエリアで、チャイルドラインが問題を抱えて孤独に陥りがちな子どものSOSを受けとめる“心のセーフティネット”としてより機能していくために、電話を受けるスキルアップ、実施体制の強化につながる研修を開催した。エリアの状況に応じて、北海道・東北エリア『「ゆらぎ」の対処法』、北関東・甲信越『支え手のロールプレイ』、南関東エリア『震災後のケア』、東海エリア『支え手研修』、北陸・近畿エリア『子どもの声を聴くために』、中国・四国『ケアする人のケア』、九州・沖縄『支え手研修について』のテーマで行い、全国で約180名のチャイルドライン関係者の参加があった。

・テキスト作成：チャイルドヘルプラインインターナショナル(CHI)が発行している組織運営強化に関するテキストを翻訳しまとめた「チャイルドラインの組織運営と責任」を500

部作成し、実施団体と当センターを通して、チャイルドライン関係者に配布を行った。

2. 予想される事業実施効果

① 虐待防止啓発キャンペーン事業

子どもの置かれている現状を広く社会発信していく活動を続けているが、その中で文部科学省の子どもを見守り育てるネットワーク推進会議、厚生労働省の虐待防止対策推進協議会、中央子ども支援センターの構成団体となるなど、子どもに関わる省庁や関連機関との連携の動きが出てきている。

今後も子どもたちの状況を発信し続けながら、現状を改善していく具体的な働きかけを、他の機関や団体、個人などとネットワークを組みながら進めていくつながりができていると考える。

2011チャイルドライン年次報告 CHILDLINE ANNUAL REPORT



② 虐待早期発見強化研修事業

全国研修や各エリアでの研修を続けてくる中で、チャイルドラインが抱えている課題や強化していくべき内容が明確になってきた。これまではチャイルドラインの活動を広げ、より多くの子どもたちの声を受けとめ、SOSをキャッチすることを目指してきたが、これからはチャイルドライン実施団体それぞれが力をつけ、より体制強化を図る中で、より多くの子どもたちのSOSを的確に受けとめられる体制を構築していくことが必要であると感じている。今後、研修を通して取り組むべき課題が明確になったことで、次年度以降具体的な動きをつくっていくための準備が整ったと考える。



3. 本事業により作成した印刷物等

- ・子ども向けキャンペーンシール：20万枚
- ・大人向けキャンペーンリーフレット：20万枚
- ・2011チャイルドライン年次報告：3,300部
- ・テキスト「チャイルドラインの組織運営と責任」：500部

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター

(トクテイヒエイリカツドウハウジンチャイルドラインシエンセンター)

住所：〒162-0065

東京都新宿区住吉町 8-5 曙橋コーポ 2階

代 表 者：代表理事 清川 輝基 （ダイヒョウリジ キョカワテルモト）

担当部署：事務局（ジムキョク）

担当者名：事務局 武藤知佳（ジムキョク ムトウチカ）

電話番号：03-5312-1886

F A X：03-5312-1887